

輸液ポンプ点検方法 (返却時 / 使用前 点検)

準備	<p>閉塞圧測定キットを準備します。 実際の使用には、シリンジを外して使用します。</p>	
外観検査	<p>架台の汚れ・破損、取付ネジの動きがスムーズであるか確認します。必要があればネジ部に注油します。</p>	
外観検査	<p>外装ケースの汚れや破損を確認します。 汚れのある場合は中性洗剤等で清拭します 特にAC電源入力部・入力キーパネルの破損には気をつけてください。</p>	
機能点検	<p>まず、ドアを開けます(ドア・クランプ部の動作・破損に注意) 電源スイッチONボタンは正しく動作するか？ セルフチェックが正しく行なわれるか？ ・全てのランプが3回点滅し、ブザーが鳴る ・フィンガー部が少し動く バッテリー残量ランプが点灯しているか？ AC電源に接続し、AC / DCランプが点灯するか確認します。</p>	
機能点検	<p>流量設定を120ml/hに設定する。 次に予定流量を設定します。 (まず切換ボタンを押し予定量を点滅させ、上ボタンで422ml/hに設定し、下ボタンで200ml/hまでもどす) このとき、ボタンの操作が的確に行えるか確認します。</p>	
機能点検	<p>閉塞圧測定キット を取り付けます。輸液ライン装着時には装着部位に異常がないかを確認します。(特にチューブクランプの動作・破損に注意) ドアを閉じ、少し早送りボタンを押して早送り動作が可能か？ モーターの異音がないか確認します。その後、開始ボタンを押し、動作インジケーター が動き、動作に異常がないかを確認します。</p>	
アラームの点検	<p>圧力メーターの値が正常範囲内で閉塞警報が鳴るか確認します。アラーム音確認後、停止・消音できるか確認します。 ドアを開けドア警報 が点滅するか確認します。この時、チューブクランプ が確実に閉じていることも確認します。 輸液セットを外した時に気泡警報 が点滅するか確認します。</p>	
アラームの点検	<p>アラーム停止後、2分間そのままにして、再警報が鳴るかを確認します。最後に電源が正しく切れるかを確認後、充電してください。充電完了後、次の使用に備えます。</p>	

* 取扱説明書を必ず熟読した上で本作業に取り掛かってください。

* 本内容は装置の動作を保障するものではなく、発生したトラブル等も、当技士会では一切責任を負いません。